

# ヤスクニ通信 YASUKUNI NEWS

郵便振替口座番号：00130-9-101803 加入者名：バプ連ヤスクニ委員会 〒153-0061 東京都目黒区中目黒 3-13-29

## 「平和宣言」・夢・闘い

谷本 仰（南小倉バプテスト教会牧師）

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであって、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍

の原理であり、この憲法は、かかる原理に基づくものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

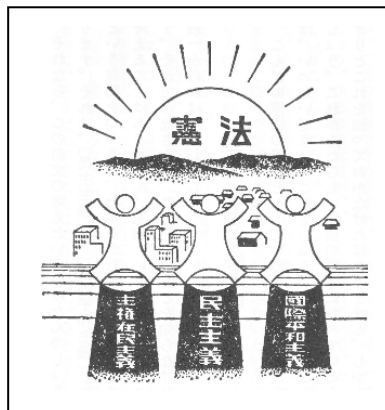
（日本国憲法前文より）

自民党・第二次安倍晋三内閣の下で、一気に「改憲」への動きが加速している。それは憲法の性格を根本的に変えるものであり、「憲法改正」というより「壊憲」と言うべきものだ。

日本国憲法は、その前文にもあるように「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすること」を目的として制定されている。主権者たる国民が、政府・国家に制約を加え、その暴走を食い止めるために日本国憲法は制定された。「改憲」はこの歯止め・制約から政府を解き放つことを目的としている。改憲によって政府は戦争遂行を含めあらゆる自由を得たいと願っている、ということだ。

そしてこれは日本という国を新自由主義体制の中に完全に組み込むために必要な手順であると思われる。際限・制限なき競争・弱肉強食の自由。規制の徹底的排除による多国籍企業の利潤追求への開放。「労働」を含む市場の徹底的自由化。それは「国民国家の解体」を意味する、と内田樹氏は言う。日本という国を解体し、グローバル経済/企業に丸ごと売り渡すこと。それがこの改憲の目的であることが、指摘されている。

そこで起きることは、安価な労働力としての人間の買い叩き・使い捨てのさらなる激化だ。1986年に施行された「労働者派遣法」によって、爆発的に非正規雇用形態の常態化が進み、不安定就労層が激増した。自民党改憲憲案における、「基本的人権」という現憲法の大原則の削除は、この人間の使い捨ての合法化を目指しているといえる。戦争の肯定も、集会結社・



1947年文部省発行「あたらしい憲法のはなし」より

思想信条・表現、そして信教の自由の制限も、新自由主義への日本の明け渡しのプロセスにすぎない。（2011年3月以降まったく出口も見えないまま続けられている福島第一原発事故への現場での対応作業も、その殆どを非正規雇用労働者たちが担っている事実も忘れてはならないだろう。）

また憲法改正手続きのハードルを高く設定している「96条」の変更は、国のあり方に変更を加えることをより容易にするプロセスだ。そ

これは多国籍企業、グローバル経済の要請に応じやすい体制を作ることでもある。「96条問題」は、それ自体が大きな問題なのだ。

こうした状況の中で「ウルトラナショナリズム」が台頭してきている。安倍首相、猪瀬東京都知事、橋下大阪市長らが示す強い右傾化や歴史修正主義傾向は、改憲の動きと表裏一体をなしている。新自由主義の強化に伴う人間の使い捨ては当然ながら不満や苛立ちを喚起し、それは社会の中に溜め込まれ、その反発が「爆発」に至る圧力は必然的に高まることになる。しかし本来政府やグローバル企業に向かうべきその矛先を隣国や、あるいは在日外国人たちに向けさせる機能を、差別や排外主義は果たしている。こうした状況の中で、いわゆる激しくあからさまなヘイトスピーチや民族差別、性差別（例：橋下「従軍性奴隷必要論」等）が露出してきている。

これに対して一方でカウンターデモなどが行われるようになってきた。「仲良くしようよ」というプラカードが沿道からヘイトスピーチを垂れ流す差別集団に向けて掲げられている。このスローガンは、ヘイトスピーチのデモ集団に向けて「闘うべき相手は誰なのか？我々ではないのではないか？」と問いかける側面ももっていると思う。カウンターデモ参加者自身もまた「ヘイトスピーチのデモ参加者は真の敵ではない」と表明していることになる。「敵を愛し、迫害する者のために祈れ」と主イエスはいわれた。それは敵対させられている者同士の和解と連帯の創造を通じて、むしろ真の「敵」との闘いに向かうための、いわば「闘いの弁証法」という面を持っているのではない。

平和宣言は基本的に「殺さない」宣言だ。しかし教会はこの保守性、拒否の闘いと同時に、創造、革新、肯定の闘いを形成していく必要がある。文字どおりの「教会形成の課題」として。新自由主義の世界への対抗手段として。主に赦されて生きる人間のための教会と世界づくりに向けて。教会の責任を棚にあげ、教会にやっ

てきた人々個人にのみ応答責任を負わせてこの冷酷な世界へと「追い返す教会」であることからの悔い改め・方向転換を決断し選び取りながら。教会としての応答責任を担いながら。そこにこそ、この世のモノではない教会の自由さがあり、ユーモアがある。

靖国神社に聖句の旗が翻っている。「人がその友のためにいのちを捨てること、これより大きな愛はない」。実は「いのち」と訳されている言葉はもともと「人間の決断の座、感情の座などを指す語」（岩波・ヨハネ文書・補注 用語解説 2頁）。主体性や気持ち、と簡単に言い換えてもいい。友が生きるために、苦しみ痛み、傷、罪の悲しみを負った者たちが生きるために、自分に拘らないあり方。それは主イエスが十字架の上で示した救いと赦しの出来事の形そのものだった。それは、自分の誇りを絶対視し、他民族を傷つけ、自らの罪責から目をそらし、戦争やそれに伴う暴力や差別を肯定する者たちの姿とは決定的に異なっている。この主イエスの十字架の下へと、そしてそこからの出発へと、教会はこの状況下において、主イエスに促されている。

戦争の永遠の終結、和解、平和。それはまだ見ぬ夢。しかし、私たちは主イエスにあってそれをすでに見た。平和憲法もこの世界においてひとつの「夢」を提示したのだといえる。平和憲法における夢と、主イエスにおける教会の夢。それらの重なるところにおいて、私たちはこの国、この社会の中で具体的に行動し、発言し、平和を創り出していく必要がある。



1947年文部省発行  
「あたらしい憲法のはなし」  
より

## 【新聞他 拾い読み】

### ■日本の右傾化、積極的な対処が必要だ

日本の右傾化現象がますます加速している。その背景には、保守右翼の人々が結集した“日本会議”の存在がある。政財界、文化界など日本全体の右翼活動に連帯感や理念的論理を提供する団体だという。この団体が究極的に目指すところは、改憲を通じて天皇制を復活させ、自衛隊を海外攻撃が可能な一般の軍隊に変えて東アジアの覇権を掌握することだ。

慰安婦の否定妄言、日本の侵略の歴史を謝罪した村山談話・河野談話の否定、教科書歪曲、独島（ドクト、日本名・竹島）問題の浮上、靖国神社参拝などますます露骨になっている極右化の動きの主役が、まさにこの団体の会員たちだ。日本の右傾化現象に対する警戒心を高め、これをけん制するための韓国政府と民間の活動が一層強化されなければならない状況だ。

・・・私たち韓国は、日本の右傾化現象に対して漠然とした警戒心を持ち、事件が起きるたびに鬱憤を爆発させるやり式で対応してきた。しかし昨今の日本の右傾化現象は、より根本的で組織的な対処を要求している。韓国政府は、日本の右翼の活動が波紋を起こすたびに批判すること以上の対策を模索しなければならない。日本の良心ある知識人、政治家たちとのきずなを強化する体系的な努力がなされなければならない。一般の日本国民はもちろん国際社会全体の世論が右翼勢力に対して批判的な立場をとるような環境づくりをする努力も強化されるべきだ。

(中央日報・社説 2013より 0502)

### ■憲法記念日に・96条改正は本末転倒だ

・・・自民党は野党時代の昨年4月、「日本国憲法改正草案」を決定し、発表した。草案は多くの問題をはらむ。9条を改正して「国防軍」を保持することを明記。交戦権の否認条項が削除され、集団的自衛権の行使を前提に「自衛権の発動を妨げない」と規定している。戦争のできる国への大転換である。

・・・国民の自由や権利が後退し、逆に義務が拡大しているのも特徴だ。現行憲法の12条には「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」と明記し「常に公共の福祉のためにこれを利用する責任を負ふ」としている。これに対し草案では「自由及び権利には責任及び義務が伴うことを自覚し、常に公益及び公の秩序に反してはならない」と変更され、「責任及び義務」や「公の秩序」などの文言が新たに挿入された。「公の秩序」とは何を意味するのだろうか。これに反するかどうかを判断するのは誰なのだろうか。時の政

府の恣意的な運用を許しかねない。


草案には日の丸・君が代の尊重義務や、家族は互いに助け合わなければならないとの条文もある。思想・良心の自由や家族のあるべき姿に国家が介入し、憲法で規定すべきものなのだろうか。

憲法記念日が、沖縄で初めて祝日となったのは米軍統治下の1965年である。当時の立法院が新たに住民の祝祭日とする法改正をした。松岡政保主席は「一日も早く日本国憲法が沖縄にも適用されることを願う全住民の願望の現れである」との談話を発表している。だが、日本国憲法が適用されるようになった復帰後も米軍基地の極端な集中は変わらず、憲法の平和主義を実感する機会が乏しい。沖縄では「憲法・国内法」の法体系は、「安保・地位協定」によって大きな制約を受けているのが現実だ。

このような基地の過重負担を放置したまま集団的自衛権が行使されるようになっていったら、沖縄の将来はどうなるのだろうか。憲法論議には十分な時間と未来を見据えた深い視点が必要だ。

(沖縄タイムス・社説より 20130503)

### 【新刊案内】



**信仰の良心のための闘い**

「日の丸・君が代『強制』問題の過去・現在・未来」など訴訟の紹介、「青年の家」における朝の集いの問題など、橋本による「日の丸・君が代」の強制を行われている大阪、東京の教師、牧師、司祭の講演集なので、読みやすい。資料の紹介も充実している。

「21世紀ブックレット」  
いのちのこぼれ

### ■首相の歴史認識 過去に目を閉ざすな

異例の苦言である。韓国の朴槿恵大統領が米議会の上下両院合同会議で、日本の歴史認識について訴えた。「歴史問題に端を発した対立が一層深刻になっている。歴史に正しい認識を持たなければ明日はない」

第2次大戦中の「従軍慰安婦」や歴史教科書、靖国神社参拝などをめぐる安倍晋三首相の歴史認識は、日本の急激な右傾化と理解され、近隣諸国から警戒されている。首相の歴史認識に対して米国政府は非公式に「懸念」を伝達している。米議会調査局は「東アジアの国際関係を混乱させ、米国の国益を損なう可能性がある」との報告書を発表した。

歴代政権は、近隣諸国に配慮した教科書記述を約束した「宮沢談話」(1982年)、「従軍慰安婦」問題で戦

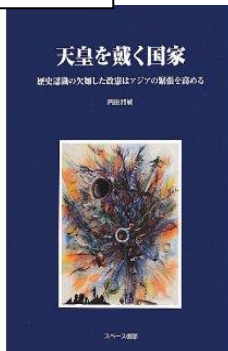
時中の旧日本軍の関与や強制性を認めた「河野談話」(93年)、植民地支配と侵略を謝罪した「村山談話」(95年)を発表してきた。「戦後レジーム(体制)からの脱却」を掲げる安倍氏が行おうとしているのは、日本が内外に確認してきた歴史認識の転換にほかならない。

ヴァイツゼッカー元ドイツ大統領が指摘したように「後に過去を変更したり、あるいは起こらなかったことにしたりすることはできない」のである。そして「過去に目を閉ざす者は結局、現在にも盲目となる」のである。安倍首相は「歴史認識に関する問題が外交、政治問題化されることは望んでいない」と言う。しかし他国に到底受け入れられないような歴史認識が問題化するのはいくらも。国内でも4・28をめぐる「主権回復の日」という認識が沖縄側から反発を受けたばかりだ。

特に「侵略という定義は国際的にも定まっていない」という首相発言は、独りよがりな国際社会に通用するものではない。米紙は「恥ずべき発言」「歴史に向き合う能力がない」などと批判した。

侵略は74年の国連総会決議で明確に定義されている。その定義に照らすまでもなく、日本は明らかに他国を侵略したのである。首相の言う「未来志向」の国際関係は、過去に目を閉ざしたままでは築けない。首相は朴大統領の発言を重く受け止め、歴史を直視すべきだ。(琉球新報・社説より 20130510)

#### 【新刊案内】



#### 天皇を戴く国家

ノー！ハブサ(合祀NO!) 訴訟の弁護団の一員として、また「平和の灯をヤスクニの闇へ キャンドル行動」事務局長として、闘いのただ中にある著者が紡ぎだすヤスクニの闇論。ヤスクニがさらに嫌いになること請け合ひ本。  
内田雅敏著  
スペース伽倻隊

#### ■安倍首相に抗議書簡 靖国参拝で韓国議員ら

韓国国会の与野党議員約100人でつくる「正しい歴史教育のための議員の会」は10日、日本の閣僚らによる靖国神社参拝に抗議する書簡を、韓国外務省を通じて安倍晋三首相に送ったと明らかにした。

書簡は、靖国参拝に対する謝罪や、今後の参拝中止を要求。靖国神社に「無断で合祀された朝鮮人約2万1千人の合祀をやめること」も求めた。また、竹島(島根県隠岐の島町)を日本領と明記した日本の高校教科書が合格した検定結果の取り消しや、アジア諸国への配慮を求める教科書検定基準の「近隣諸国条項」の維持を要求した。

同会は日本の超党派の議員連盟「みんなで靖国神社

に参拝する国会議員の会」会長を務める自民党の尾辻秀久参院議員にも同様の書簡を送付。同会に靖国参拝をめぐる公開討論会を開くことを提案している。

(共同 20130510)

#### ■首相、新国立追悼施設建設に反対

安倍晋三首相は14日の参院予算委員会で、戦没者を追悼する無宗教の新たな国立施設建設について「靖国神社が問題になっているから別のものを造ろうという判断なら、それは間違いだ」と反対する姿勢を示した。靖国神社へのA級戦犯合祀に対する中韓両国などの反発を受け、2002年に福田康夫官房長官(当時)の私的諮問機関が新追悼施設の建設を提言。公明党などが実現を求めているが、政府内で検討は進んでいない。安倍首相は予算委で、遺族が靖国神社に参拝する理由を「(戦没者と)魂が触れ合うと思うからだ」と説明した上で「それが感じられなければ誰も行かない」と強調した。

(共同 20130514)

#### ■安倍首相の靖国発言批判 韓国紙

21日付の韓国主要紙は、安倍首相が米外交専門誌「フォーリン・アフェアーズ」のインタビューで、靖国神社参拝は米大統領が米国のアーリントン国立墓地を参拝するのと同様と述べたとして、「侵略戦争を主導した戦犯が合祀されている宗教施設」と「内戦の戦死者が眠る国立墓地」を同列視するのは「詭弁」(朝鮮日報)などと批判した。首相は同誌最新号で、アーリントンには南北戦争で奴隷制度維持を目指した南軍の兵士も埋葬されているが、墓地参拝が奴隷制支持を意味するわけではないとする米国の大学教授の見解を紹介。靖国についても同じことが言えると述べた。

東亜日報は「靖国には国際社会が判決を下したA級戦犯が合祀されている」とし、「首相の参拝は過去の侵略戦争に国家が免罪符を与えると同時に戦後の国際秩序を否定する行為だ」と主張。中央日報は「韓国や中国などが靖国参拝に反対する最大の理由の一つである、A級戦犯合祀の議論を回避しようとする奇計だ」と非難した。

(共同 20130521)

#### ■靖国神社とアーリントン墓地を一緒にするな！

##### 安倍首相の主張に中国メディアが猛反発

安倍晋三首相が米外交専門誌で、「日本人が靖国神社を参拝することと米国人がアーリントン国立墓地を参拝することは同じ」と発言したことに、中国メディアが猛反発している。23日付で東方網が伝えた。

自民党の高市早苗議員が12日、「靖国神社の参拝を止めたら、日本の政治は終わりだ」と発言したことに続き、安倍首相が米外交専門誌のインタビューで靖国神社とアーリントン墓地を同列に論じた。どちらも「お国のために命をささげた英霊が祀られている」という



もの。この安倍首相の主張は日本の靖国問題に対する新たな解釈として、各メディアがかなりの関心を寄せている。だが、靖国とアーリントンを一っしょくたに語るべきではない。アーリントンには独立戦争、第一次大戦、第二次大戦、ベトナム戦争、朝鮮戦争、アフガニスタン戦争などの 30 万人を超える戦没者が眠っている。そこには、中国人民を日本の侵略から救うために戦った兵士や太平洋戦争で日本の軍国主義を倒すため、命を落とした若い軍人の墓もある。

一方、靖国神社にも約 240 万人の戦没者が眠っているが（そのうち第二次大戦の戦没者は 230 万人）、忘れてはならないのが、東条英機ら 14 人の A 級戦犯と約 2000 人の B、C 級戦犯が合祀されていること。靖国神社は日本の右翼勢力の精神的支柱であると言われるが、それは嘘ではないことが分かるだろう。  
(毎日中国経済 20130523)

## ■学徒兵の命に思い

### 西南学院あれから 70 年 O B が尽力 初の追悼式

太平洋戦争中の学徒出陣（1943 年）から、今年で 70 年。西南学院大などを運営する学校法人西南学院（福岡市早良区）は 1 日、同学院の旧制校を繰り上げ卒業して戦地に赴き、命を落とした若者たちの追悼記念式を開いた。戦後初めての開催。同大ラグビー部 O B で、戦没者の調査に取り組む福岡市城南区の坂本譲さん（84）が働き掛け、実現した。坂本さんが調査を始めたきっかけは、編さんに携わったラグビー部の「80 年史」（2008 年完成）。学徒出陣前後の集合写真に写った多くのラグーマンに「戦死」と書き込まれていた。戦況が悪化する中、志願した若者たちは、特攻学徒兵などとして亡くなった。坂本さんは先輩や他の部を訪ねたり、戦争資料をひもといたりして、これまでに 42 人の氏名や命日、戦没地を確認したという。

追悼記念式には、O B や在学学生、遺族など約 200 人が参加した。「悪から遠ざかり、善を行い、平和を願って、これを追い求めよ」（新約聖書 ペトロの手紙 3 章 11 節）。平和への祈りを込めた聖書朗読の後、前学院長の寺園喜基名誉顧問が「学徒兵たちは夢を奪われ、文具を武器に持ち替え、戦地に行かねばならなかった」と追悼の意を表し、「平和憲法を守る努力をすることが、亡き人たちへの誠実な答えだ」と訴えた。グリーククラブや女声合唱団の O B が厳かに賛美歌を合唱した。式では、坂本さんの目に涙があふれていた。「やっと、亡くなった先輩たちの追悼ができた。ありがたい」と語り、平和を求める思いを新たにしていた。

(西日本 20130602)

## ■靖国参拝、政治基盤損なう＝安倍首相に警告

米紙ニューヨーク・タイムズは 22 日、参院選での与党圧勝に関して「日本のチャンスと危険」と題する

社説を電子版に掲載した。社説は今回の選挙で安倍晋三首相の経済政策が支持されたと指摘。日本の重要な貿易相手国である中国を刺激する靖国神社参拝や防衛力増強などに突き進めば、「経済成長や政治基盤の安定を損なう」と警告を発した。また、首相に対して「選挙結果を歴史認識の見直しや中国に向けた強硬な発言、自衛隊の活動を拡大させる憲法改正といった考えに対する支持だと捉えてはならない」とくぎを刺した。

(時事 20130723)

## 靖国神社への「真神」奉納行為について抗議・要請する

内閣総理大臣 安倍晋三様 他

靖国神社春季例大祭が始まった 4 月 21 日、安倍首相は、麻生太郎副総理や古谷圭司拉致問題担当大臣の靖国神社参拝（新藤義孝総務大臣は 20 日、稲田朋美行政改革大臣は 28 日参拝）に合わせ、神前に捧げる供え物である「真神」を内閣総理大臣安倍晋三名で奉納した。また同日、伊吹文明・田村憲久両氏も「真神」奉納を行った。

安倍首相自身は、「（2006 年～2007 年）首相在任中に参拝できなかったのは痛恨の極みだ」と靖国神社参拝に意欲を示していたが、外交問題になることを回避するためやむなく「真神」に代えたものである。4 月 23 日の、国会議員 168 人という 1987 年に本人出席の確認を始めた以降最多の靖国神社参拝は、安倍首相の意向を反映したもので、中国・韓国の抗議は予期以上に強く、重大な外交問題に発展しており、靖国神社参拝に代わる「真神」代行では済まない安倍首相の責任が問われている。

そもそも「真神」は、三種の神器という皇室神道の私的祭儀に係る神祭用具の一つであり、その奉納は、かつての国家神道のもと、日本のアジア諸国への侵略戦争の精神的支えとなった靖国神社の役割を、行政府の最高責任者が追認するかの感を与えるものである。

この「真神」奉納は、憲法 20 条が信教の自由を守るために「国及びその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない」と定める厳格な政教分離の原則に反する行為である。さらに、「憲法尊重擁護義務（憲法 99 条）」違反を疑わせる重大な行為として強く抗議するものである。

合わせて安倍首相は、2007 年に首相として今回と全く同様な「供物奉納」を行っており、また麻生氏も首相として 2008 年と 2009 年に二度同様の行為をいたしていることから、今回のような、首相としての宗教活動は二度と繰り返されないよう強く要請するものである。

2013 年 5 月 13 日

日本キリスト教協議会（NCC）靖国問題委員会  
委員長 坂内宗男

◆◆◆ 全国の8・15集会、他8月の集会のお知らせ ◆◆◆

【 あさひかわ8・15平和祈禱会 】

- ◇日時 8月15日(木) 18:00~19:50 ◇会場 教団旭川豊岡教会(旭川市6条通25丁目)
- ◇プログラム 礼拝、『映画 日本国憲法』上映、感想など分かち合いの時、祈りの時
- ◇主催 あさひかわ8・15平和祈禱会実行委員会(西岡:0166-23-2565) ※参加は無料。礼拝で席上献金。

【 8・15札幌平和祈禱集会 】

- ◇日時 8月15日(木) 18:00~ ◇会場 北海道クリスチャンセンター(札幌市北区北7条西6丁目)
- ◇講師 今橋直さん(教団札幌北部教会会員・弁護士)
- ◇テーマ 「この国は、どこに行こうとしているのか~改憲とキリスト者と8・15~」
- ◇主催 札幌キリスト教連合会信教の自由を守る委員会

【 仙台 平和を求めるキリスト者 合同祈禱集会 】

- ◇日時 8月11日(日) 14:00~16:00 ◇会場 元寺小路カトリック教会(青葉区本町1-2-12)
- ◇平和メッセージ 平賀徹夫司教(仙台司教区) ◇特別演奏 白百合学園高校ハンドベル
- ◇主催 仙台キリスト教連合会

【 第40回 許すな!靖国国営化 8・15東京集会 】

- ◇日時 8月15日(木) 10:00~12:00 ◇会場 在日本韓国YMCA(千代田区猿楽町2-5-5)
- ◇講師 内藤新吾氏(日本福音ルーテル稔台教会牧師) ◇テーマ 「原発・原爆と憲法改悪」
- ◇主催 8・15東京集会実行委員会、後援 NCC靖国神社問題委員会

【 中部連合 8・15平和集会 】

- ◇日時 2013年8月15日(木) 14:00~16:00 ◇会場 日本バプテスト名古屋キリスト教会
- ◇講師 城倉 啓氏(泉教会牧師) ◇テーマ 『自由の基礎法』~憲法改正について考える~
- ◇主催: 中部連合プログラム委員会

【 こどもとおとなの8・15平和祈禱集会 】

- ◇日時 8月15日(木) 14:00~16:30 ◇会場 北山バプテスト教会(北区上賀茂岩ヶ垣内町37)
- ◇講師 山本俊正氏(関西学院大学教授、元NCC総幹事) ◇テーマ 非暴力抵抗運動の可能性一人権としての平和◇主催 日本バプテスト連盟関西地方教会連合社会委員会(問合先 06-6693-3927 喜多村)

【 バプテスト北九州地方連合8・15集会 】

- ◇日時 8月15日(木) 13:30~17:00 ◇会場 シオン山バプテスト教会
- ◇第一部 礼拝(説教 奥田知志牧師)「平和宣言交読」連合聖歌隊讃美、少年少女会讃美
- ◇第二部 講演会 徳永達哉氏(熊本大学院准教授・憲法学) 「日本国憲法の基本原理を読み直す」
- ◇主催 バプテスト北九州地方連合社会ヤスクニ委員会

【 福岡 8・15平和を建設する集い 】

- ◇日時 8月15日(木) 14:00~ ◇会場 教団渡辺通教会(中央区渡辺通4-5-1)
- ◇講師 横田耕一さん(九州大学名誉教授) ◇テーマ 「“壊憲”をねらう自民党憲法改正草案」
- ◇主催 8・15集会実行委員会 ※集会後デモ行進があります。

【 平和の灯を!ヤスクニの間へ 2013キャンドル行動~国防軍の名の下ふたたび「英霊」をつくるのか 】

- ◇日時 8月10日(土) 13:00~18:00 ◇会場 在日本韓国YMCA(千代田区猿楽町2-5-5)
- ◇シンポジウム 高橋哲哉(東京大学教授) 金東椿(韓国・聖公会大学教授)  
内海愛子(恵泉女学園大学名誉教授) 志葉 玲(ジャーナリスト)
- ◇遺族証言 韓国、沖縄、東アジア地域から ◇コンサート ◇キャンドル デモ
- ◇主催 平和の灯を!ヤスクニの間へ キャンドル行動実行委員会